

# H25年度 第2回安芸地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：平成26年2月13日（木）14:00～16:30

場所：安芸広域メルトセンター 2階会議室

## 1 議事等

### (1) 地域アクションプランについて

#### 1) 安芸地域アクションプランの進捗状況等について

- ・平成26年度安芸地域アクションプラン(案)(資料3)をもとに、追加、統合、拡充、修正する項目を含め、安芸地域アクションプラン(案)の全て(農業、林業、水産、商工業、観光、その他分野)について説明

#### 2) 平成26年度安芸地域アクションプラン(案)について

- ・追加6件、拡充8件、修正9件を含む地域アクションプラン(案)について説明
- ・案について了承された

### (2) 産業振興計画の改定等について

#### 1) 第2期産業振興計画(Ver.3)の改定のポイントについて説明

#### 2) 平成26年度移住促進策のバージョンアップについて説明

#### 3) 平成26年度観光振興部の取組について説明

### 【意見交換】

<安芸地域アクションプランの進捗状況等について及び平成26年度安芸地域アクションプラン(案)について>

- ・地域アクションプランの指標や目標の設定時期がバラバラで平成22年度や平成23年度のものがある。特に観光のガイド実績や施設の入場者などは設定年度がそれぞれ違うため比較しにくいと思うが、再整理できないか。

→平成24年度からの第2期のアクションプランを策定する際に、平成27年の数値目標を設定するにあたり指標を直近の平成22年実績を用いたことによる。平成24年度以降、新たな追加や修正したプランは、27年の目標に対する指標を直近の実績をもとにしたことから23年の表記がある地域アクションプランとなっている。

- ・アクションプランの様式は、指標の記載など書式を定めているのか、様式の変更や修正などは行えないのか。

→地域アクションプランを作成するうえで、県内全域で統一様式として用いているもので、今回、直ちに修正は難しいが、今後のプランの修正作業の中で新しい数値を追記していくなどの改善を行いたい。

<産業振興計画の改定等について>

- ・移住について、個人的に相談を受けているが、市町村の移住を担当する部署によっ

ては、移住相談への対応が異なっているように思う。これまで何人かの移住相談があったが仕事がないので実現できなかつたと聞かすが、今の支援の体制などはどのようになっているのか。

→県では、移住促進室を設け、移住相談などを専門に担当する「移住・交流コンシェルジュ」として6名を配置して対応にあたっている。県内の市町村にも移住担当は配置されているが、総合窓口として一時的にコンシェルジュへ連絡いただければ、それぞれの市町村の関係者へつなぐなどして、移住につなげていきたい。

・人口減少が進む高知県では移住の重要性は理解しているが、若者などが移住した後、定住するか懸念する。例えば、一次産業に定着した事例はあるか。

→「田野屋塩二郎」は田野町で製塩に従事しているし、東洋町では有機トマトの栽培に従事されている方もいる。四万十町では生姜農家として定着された方もいるが、一次産業は天候などのリスクもあり、高い志を持って一定リスクも覚悟して移住される方が成功されている。移住されて県内で定着された方々を県のホームページで紹介している。

・一次産業の農業で、加工や6次産業化で生計を安定化させている成功事例はあるか。また、移り住む地域に魅力があるのかや地域住民の受入体制が整っているかが移住のポイントとなるが、他の地域の事例を紹介できないか。

→嶺北地域や四万十町では多くの成功事例が紹介されている。この地域では、手厚く新規就農研修を行ったり、付加価値の高い有機農業の指導体制があることや農作物の流通販売の支援など、新規就農する移住者の周辺に支援する体制が整っていることが成功事例になっている。これからは6次産業化を目指した戦略をもって一次産業を考えていかなければならないと考えており、産業振興計画の中に移住の視点も組み合わせて取り組むことが来年度の大きな課題となっている。

#### ●お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課（地域担当）

電話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp